動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話｛（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

94.12.3 No. 号外

12・3ダイ改強行弾劾！

組織破壊攻撃としてあった

一二月ダイ改に満腔の怒り込め

ＪＲ当局は、今日、一二月三日、全く不当にも一二月ダイ改を強行した。

今次ダイ改が、何よりも動労千葉潰しの組織破壊を目途とした、特急行路の京葉への管内業務移管によって、ＪＲ移行後も一貫して労務政策のみを優先するものであること。かつ強制配転による館山・勝浦での動労千葉の影響力を削いでいくことを企図したものであることを、われわれは満腔の怒りを込めて弾劾する。

われわれは戦略的闘いを

万全の下に準備する！

そしてこの攻撃の意図する、基地統廃合を見据えた反撃の闘いを万全の下に準備する。

今次ダイ改闘争は、「分割・民営化一〇年目の検証」、「ＪＲ体制の反動的再編」を見据えた、新たなる闘いへと向けた、全体の怒りを戦略的闘いへと転化させる序曲としてあった。

われわれは、闘いの真実によって、その攻撃の意図するものを喝破する。

闘いの地歩を築きあげた

一二月ダイ改阻止闘争

さらに、今次ダイ改闘争は、全国鉄労働者の、そして地域住民の声を背景に獲得し、闘いへの指標としての地歩を築きあげた。

ダイ改強行によって、この一年半で六八本のローカル線列車が切り捨てられた。

「地域密着」、「公共性」のカケラもないＪＲの営利優先の姿勢を白日の下にさらした、われわれのダイ改阻止闘争は、その結実のときを迎えるべく、一歩一歩着実に前進している。

この闘いの地域での結集軸として、水野選挙闘争がその結実点を結びつける。

分割・民営化の破産に喘ぐ、政府・ＪＲ当局は、ゆえに急ピッチで分割・民営化一〇年目の検証＝「分割・民営化体制の反動的再編」へと雪崩をうって進むであろう。

しかしことの本質が、矛盾に継ぐ矛盾を抱え、解決の方途なきものであることから言って、闘う側の戦略如何こそが、その破綻を決定的に招き寄せることが可能となる。

全国鉄労働者にうったえる

いまなにをなすべきかを！

闘う全国鉄労働者よ、今こそ立ち上がるときなのだ。

あの分割・民営化反対の、「一波」、「二波」ストを始めとした、「ＪＲ体制」打倒の闘いがより一層の光りを呼び寄せ、動労千葉が、その闘いの戦略を打ち固め進撃する結集軸となるとき、真の「分割・民営化体制の反動的再編攻撃」と対決する勢力を内外で獲得できる。

闘いは開始された。

いま国鉄労働者はなにをなすべきであるのか？

国鉄闘争を水路とした労働運動の潮流形成こそ、真に求められている。

12月ダイ改具体的要求交渉

【日刊四一〇〇号より続く】

交番順序の変更・行路の差し替えすら認めようとしない千葉支社

また、この間懸案事項となっている各区の交番順序の変更、行路の差し替えについての交渉を行なった。

「現場の働き易さ・現場第一主義」と常日頃主張している当局がＪＲ発足以来、こうした現場の声を一切聞き入れない対応を取っていること自身が大問題である。われわれは、現場から見て、働き易い交番や行路について要求してきた。

当 行路等については、就業規則等に基づき作成しているところである。

組 交番順序の差し替えや行路の筋の差し替えは、当局にとっては何の損もない。国鉄時代は、労資双方で、現場においてダイヤ検討を行なってきた。やろうと思えば簡単なことである。

当 交番順序差し替えや、行路の筋の差し替えは、一長一短ある。会社として努力して作成した行路、交番順序である。

組 交番順序は、区の中で調整するだけの話ではないか。ダイ改以降一巡した後、やはり現場で変えたほうがいいという意見があれば、変えることはいくらでもできることだ。

当 途中で変えるということは、会社として考えて作成したのもであるから、出来ない。

組 頑なな態度をとること自身問題である。職場でアンケートを取って、変更するということも、あっていいではないか。働き易さを追及すると会社は普段から言っている。働き易さというのは現場で判断すればいいことである。

当 勤務を考えて会社は作成している。ダイ改以降の推移を見ていただきたい。

組 現場第一主義で考えるべきである。ハンドルを握って運転しているのは現場である。現場での働き易さを追及するために、現場の意見をきちっと聞くべきである。

【千葉転関係】

(1) 内房線・外房線の込み運用を中止するとともに、次の転

を明らかにされたい。

①込み運用とした場合、内房線ないし外房線で列車遅延等輸送混乱が発生した場合、これが直ちに他線区にも影響を及ぼすことになるが、この点について、どのように考え、またどのような対策を行なうつもりでいるのか、見解を明らかにされたい。

当 行き先地の時間の拡大及び拘束時間の短縮を図るために、乗務分担の変更を含めた効率的な運用を図っていくことが必要と考えている。なお、内房線と外房線にまたがる運用が輸送混乱の影響を他線区に及ぼす要因とは考えていない。

組 効率のみを追及し、内・外房線の込み運用を導入した。しかし、どちらか一方が混乱すれば、絶対に影響をもう一方に必ず大きな影響を及ぼす

当 混乱の度合いによって対応はいろいろ違ってくると思う。輸送障害の度合いを見て、運用手配を行なう。

組 運用手配といっても、運転士が余分にいる訳ではない。込み運用では遅れを増幅させることは明らかだ。

当 運用手配により遅れを取り戻すように努力する。

組 内房線が乱れた場合、外房線に波及する。とくに早朝、深夜の乱れは予備がいないのだ。

当 現行でも快速・特急と各駅停車との込み運用となっている。

組 遅れをつかんでも、遅れを取り戻すのは運転士しかいない。遅れてきたら手待ち時間の運転士が変わらなければならない。働いている労働者が指令の指示で小間使いのように動かされていたらたまらない。快速・特急と各停の二つの込み運用が、快速・特急と内・外房の三つの込み運用となり乱れは拡大する。

当 いろいろなバリエーションがあり、一概には言えない。今だって、蘇我駅が詰まれば、千葉駅が詰まる。

組 乗務員として事故を無くすためにこうやって申し入れている。

込み運用とした場合、特に蘇我駅において、異線への連込まれ等が発生する危険性が高くなり、運転士への負担が重くなると考えるが、この点について支社の見解及び対策を明らかにされたい。

当 蘇我駅進入前に再確認することにより、異線進入を防止できると考えている。

組 異常時の場合、内房線と認識していても、異線進入する確立が高まる。

当 「運転線区に気をつけろ」という看板は設置しようということになっている。異常時の場合、意識をもって千葉駅で確認して欲しい。

組 異常時の場合、急に外房に行ってくれといった場合は、もっと混乱する。

当 千葉駅で確認し、再び蘇我駅進入前に確認してほしい。

組 込み運用が異線進入が増えると指摘している。思い込みだとかのヒューマンエラーをいかに無くしていくのかが、会社がやるべきことではないのか。

当 異線進入をしないように認識してもらわなければならない。

組 こういうダイヤになって、思い込みだとかをしないようになったということが、会社の責任ではないのか。

その他、各支部のダイ改に関する問題点をあげて交渉を行なった。しかし、千葉支社の対応は、一旦提案したものはテコでも変えないという従前からの頑なな姿勢を回答を繰り返し、基本的な要求は対立となったままである。われわれは、この支社の不当な対応を断じて許すことは出来ない。

とりわけ今回のダイ改における最大の問題点としてある「二五五系特急行路の持ちかえ」＝管内業務移管、ローカル線の大幅切り捨て、それに伴う不当配転攻撃に、一二・三ストを背景に、問題点の解決にむけ全力で闘おう。

また、こうした攻撃の背景としてあるＪＲ一〇万人体制合理化＝分割・民営化体制の見直し攻撃を見据え、闘いぬいていこう！

たたかう労働運動の新たな潮流をめざす

１２・１８労働者集会へ

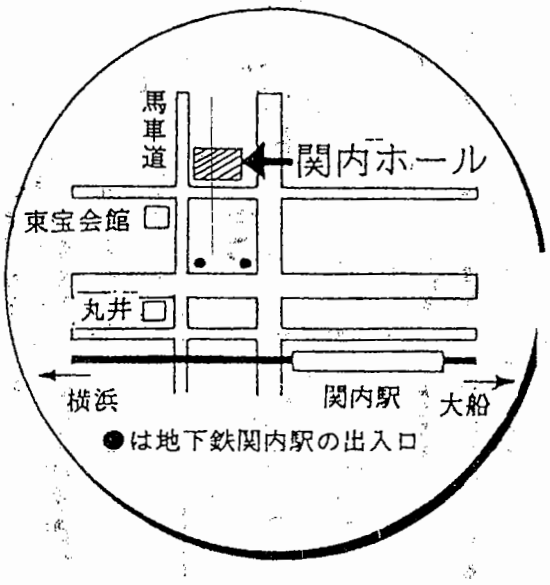
☆大失業時代に抗する労働運動を！

☆反戦・反侵略ー差別・排外主義と対決する労働運動を！

☆国鉄闘争を水路に、連合路線と対決する労働運動を！

☆村山自社連立政権打倒！闘う労働者の党を創りだそう！

とき　12月18日（日）　午前11時



＜最寄り駅＞

☆ＪＲ京浜東北線（根岸線）関内駅

☆地下鉄・関内駅

１２・１８関内ホールへ